

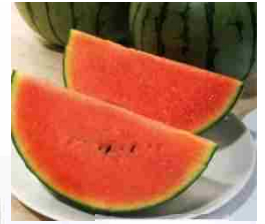
ぐんまの特産物を支える！

～河川改修で群馬の農産物ブランドを守る～

ぐんまブランドを支える水害対策

河川改修により水害リスクを軽減させ、地域の特産物である藪塚こだま西瓜の安定した供給体制を確保します。

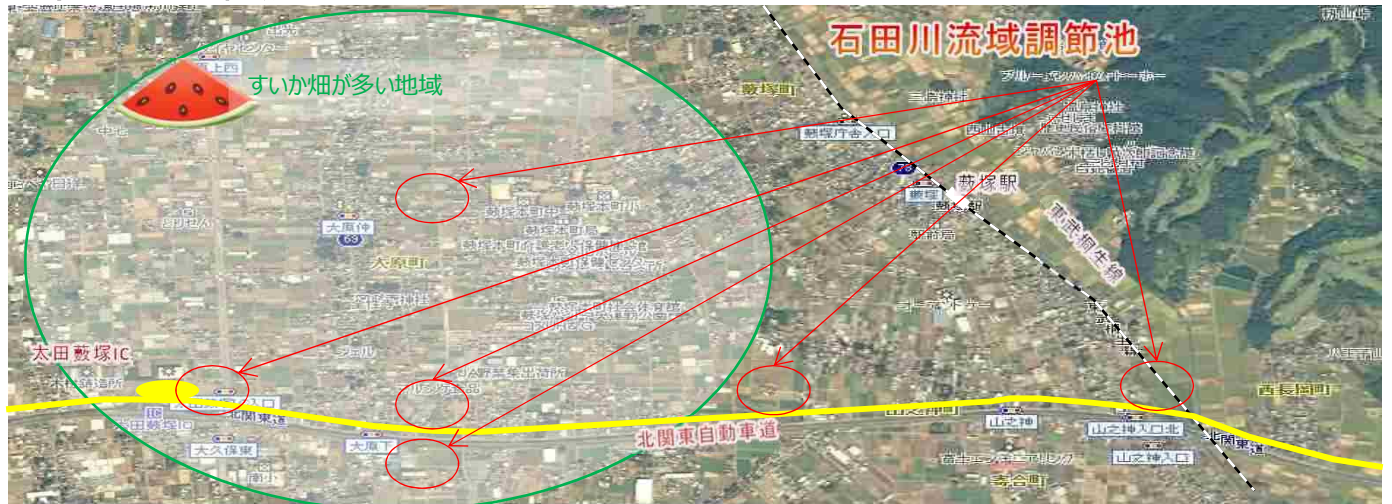
全国屈指のブランド「藪塚こだま西瓜」



群馬県太田市藪塚地区は、豊富な日照時間や水はけの良い土壌条件を活かしたハウス栽培がさかんで、京浜市場を中心に3～6月にかけて出荷されています。みずみずしい果肉と濃厚な甘さ、食べきりサイズの手頃な大きさは消費者に大人気で、全国屈指のブランドとなっています。

【効果】 雨水貯留による浸水範囲の縮小

水害リスクの軽減



藪塚地区は扇状地に位置し、一級河川がありません。そのため、雨水は農地の地下へ浸透したり田畑に一時的に貯留したりして下流の河川への流出を自然に調節していました。しかし、開発によりその機能が失われ、浸水被害が懸念されるため、調節池の整備により雨水を貯留し、浸水範囲を減らします。

●Before

浸水被害により「藪塚こだま西瓜」の出荷が停止する恐れがあります。



平成23年7月台風6号

●After

水害リスクの軽減により、農産物の安定生産や人命、財産を守ります。



調節池整備

ストック効果